

議会運営委員会協議結果

日時:平成30年9月13日(木)

開会:午前9時00分

閉会:午前9時17分

場所:議会会議室

1. 国際化への対応調査特別委員会の行政視察について (別紙資料)

【鈴木幸彦委員長】基本額を超える県外視察について、国際化への対応調査特別委員会から議長へ申し出がありますので、内容を説明してください。

【中村宗雄委員】国際化への対応調査特別委員会の行政視察が、視察旅費45,000円の枠中で対応できないものですから、議長に申し出をさせていただきました。枠内で対応できない視察地を選んだ理由は、安芸高田市は日本全国で1番国際化に対して前向きに進んでいる都市だということです。外国人を受け入れる、共に生きることを決意した町で、施策内容の範囲も半田市とは比べ物にならないので、10年後の半田市の姿にできればと思い、少し無理をしてでも視察に行かせていただきたい、委員会の目的を完遂するためにも安芸高田市へ視察に行くことをご理解とお認めいただきますよう、ご協議をお願いします。

【小野田靖局長】特別委員会の視察旅費は上限が45,000円というのは、委員長連絡会でもお伝えしたとおりです。旅費規定の中で決まっているのが、宿泊費が1人13,000円定額の支給、旅費雑費、昔は日当という名目でしたが、その他に係る経費が1日当たり2,500円ですので1泊2日だと5,000円です。そうすると、切符代の上限は27,000円となり、その範囲内で視察に行ける場所を選んでいただくことになっています。今回の安芸高田市に関しては、仮に安芸高田市1か所だけとしても30,770円かかり、3,770円超過するものです。事務局で相談を受け検討した結果、超過額が食事代などに充てる旅費雑費5,000円の範囲であれば遂行可能ではないかと判断しました。

《休憩》

《再開》

【鈴木幸彦委員長】国際化への対応調査特別委員会の行政視察は、切符代に旅費雑費を加えれば32,000円以内になり、加えた分を旅費雑費から差し引き、視察旅費としては45,000円以内になります。旅費雑費の範囲の中で対応できますので、今回の視察は認めるということでしょうか。

また、今後こういった事例が出てきた時は、その都度議会運営委員会で協議するということがよろしいでしょうか。

了承

【小野田靖局長】安芸高田市の他にもう1市翌日視察ができるよう調整していますが、安芸高田市1市になってしまう場合があるかもしれません。慣例的に1泊だと2市、2泊だと3市を視察していましたが、1市になる場合もあるということについて、ご了解いただけるかご協議をお願いします。

【中村宗雄委員】広島は国際化が進んでいる県のようなのですが、この時期この地域は決算審査のようで、決算審査中は対応が出来ず視察を受け入れていただけない状況です。

【山本半治委員】1か所になると日帰り出来ないかという考え方があると思いますがいかがでしょうか。

【小野田靖局長】安芸高田市の視察受入条件が、初日の午後3時以降という話でした。電車で下深川まで行き、その先は豪雨の影響で電車が動いていけませんので、代行バスに乗り換えて1時間半の行程になります。バスの待ち時間等を加味しますと、視察を終えて広島へ戻ると夜になってしまいますので、事務局としては宿泊を許可していいのではと考えています。

【中村宗雄委員】 広島まで行って1か所だけではもったいないと思いますが、取り組みもしていないような所へ形だけもう1か所行って仕方がないと思います。安芸高田市が行っている施策の中身を見てみると、連携しているのが国際交流協会ですので、初日が行政、2日目が協会の方達の現場の声を聴くとか、そういった日程を考えていきますので、ご理解いただければと思います。

【中川健一委員】 今まで1泊1か所の事例はありますか。

【小野田靖局長】 かつては2泊3日で2市、1泊2日で1市ということもあったのを、議会改革を取り組まれる中でより多くの市を視察しようということで増やしてきたことですので、1市だけ行った事例はあります。

【中川健一委員】 1泊2日で2市行かなければいけないという内規はないのですね。

【小野田靖局長】 議員の自主ルールの範疇の話ですのでありません。

【鈴木幸彦委員長】 安芸高田市への視察は、午後3時からの視察、交通事情の問題で日帰りは難しいということで、1か所でも認めるということによろしいでしょうか。

了承

2. その他

なし